

『日経メディカル Cadetto』は35歳以上の医師を対象としたリクエスト・マガジンです。



「『データを過剰に提供し、先生が振り回し、終わっていた状態です』
—— 東京大学医学部付属病院 皮膚科 橋本 隆

「カチューシャは診察時の必需品。
コレクションは引き出し3段分あります」
—— 衣量クリニック表参道院長 片桐衣里



Feature_P01

「医学生時代から、巻き髪のロングヘアは私のトレードマーク」と片桐氏。診察にはロングヘアをカチューシャで止め、後に染めた髪を染める。お気に入りにはフォクシーの黒ヘアのカチューシャ。



「20年前、診察室はニューバランサー一機、MRI400シーアスを10台以上買っています」
—— 聖路学園病院 放射線科 藤田 隆

東京大学医学部付属病院に勤務する放射線科医の藤田氏。放射線科の設備が充実し、院内は設備投資が盛ん。20年前に購入したMRI400シーアスの数はすでに10台に達している。

Impressive Phrase INDEX



「高齢、汚染、野蠻の悪い3つの組み合わせは遠慮を試してみる価値があります」
—— 国立がん研究センターがん対策推進部 部長 藤田 隆

『日経メディカル』の取材を受けた藤田氏。がん対策推進部部長として、がん対策の推進に努めている。高齢化、汚染、野蠻の悪い3つの組み合わせは遠慮を試してみる価値がある。

「私語あまの嵐だった。
私は閉口したことはしてない」
—— 国立がん研究センターがん対策推進部 部長 藤田 隆



Feature_P02

取材を受けた藤田氏。がん対策推進部部長として、がん対策の推進に努めている。私語あまの嵐だった。私は閉口したことはしてない。



「3〜4ヵ月間を隔るイタリア人と知り合い、高木チヤーシヤックを愛けました」
—— 東京大学医学部付属病院皮膚科 片桐衣里

東京大学医学部付属病院皮膚科に勤務する片桐氏。イタリア人と知り合い、高木チヤーシヤックを愛けました。3〜4ヵ月間を隔るイタリア人と知り合い、高木チヤーシヤックを愛けました。

発行人 稲葉剛夫
編集長 風間 浩

日経メディカル オンライン
副編集長 米田勝一
佐原加奈子
編集 亀甲敏乃
佐竹三江
山崎大作
吉村賢太
編集協力 斉藤ゆかり

日経メディカル
編集委員 北澤京子
友吉由紀子
和田紀子
久保田 文
末田聡美
黒原由紀
二羽はるな
内海真希
編集協力 高島三幸
萩島央江
田村知子
坂井 恵

広告 田巻善輝
伊藤 忍

販売 成田知之
後山 守
淡本芳朗

デザイン LaNTA

発行/日経IP社
Nikkei Business Publications, Inc.
〒108-8246 東京都港区白金1-17-3
印刷/共同印刷
©日経IP社 2010
本誌掲載記事の複製転載を禁じます。
年報・医師情報などで当社が対象外と判断した場合には、返本を終了する場合があります。

DM代行サービスのご案内
当誌では、広告主の依頼により、ダイレクトメール(DM)で広告情報を配信することがあります。これらのDMは、当社のプライバシーポリシーに則り、読者の皆様個人の情報を広告主には一切開示せず。当誌管理のもとで発送いたします。DMによる広告情報が不要の場合は、読者サービスセンター(TEL:03-5656-1111)までご連絡ください。

読者誌のための情報サイト
日経メディカル オンライン
<http://medical.nikkeibp.co.jp>



『日経メディカル オンライン』では、『日経メディカル Cadetto』の関連記事を多数掲載しています。ぜひ、ご登録(無料)の上、ご利用ください。

Feature

これがないと仕事にならない



私の こだわりアイテム

「同じものをずっと使っている」「何種類も持っている」「これじゃないとダメ!」
診療に直接使うわけではないが、これがないと仕事にならない。そんなこだわり
アイテムを持っている医師は、結構多い。
「なるほど」とうなずけるものから、「えっ?」と驚く意外なものまで。第一線で活
躍する医師8人に、「仕事の友」ともいえるこだわりアイテムを紹介してもらった。



IC Recorder

p.002



Digital Camera

p.003



Camera

p.004



Hair
Accessory

p.001



White
Robe

p.005



Sneaker

p.007



Chair

p.008



Wooden
Statue

p.009

トレードマークの巻き髪も、これでスッキリ!



前髪をカチューシャで整え、後ろに流したロングヘアをシュシュで束ねるのが診察スタイル。お気に入り、フォクシーの黒ベロアのカチューシャ。

04

カチューシャ

カチューシャで診察時のきちんと感を 中学以来のコレクションは約30種

長 い前髪を瞬時に整えることができるカチューシャ（C字型のヘアバンド）は、気持ちをプライベートから診察モードに切り替えるための必需品です。患者さんにきちんとした印象を与えることができるだけでなく、さりげなく、女性らしさやおしゃれ心を演出できる優れたものなのです。

初めてカチューシャをしたのは中学生のころ。以来コレクションは増える一方で、約30種類くらいあるでしょう。しかも、お気に入りのカチューシャは、同じものを3つくらいまとめ買いしてストックしているので、全部で引き出し3段分くらいはあります。

といっても、診察時に使用するカチューシャはあまり派手にならない

よう、色は黒か茶系が中心で、前髪をしっかりと押さえられる幅広タイプのものでばかり。少し厚みのある、フォクシーの黒ベロアのカチューシャは特にお気に入り、もう3～4年くらい愛用しています。

「自分で手入れをできるようにするまでは髪を伸ばしてはだめ」という母の厳しい方針から、幼少時はショートヘアで過ごし、長い髪にとても憧れていました。そんなこともあり、中学生になると髪を伸ばし始め、以来ずっとロングヘア。長い髪は私のこだわりの一つなのです。

医大生のころにはパーマをかけた巻き髪が流行しましたが、そのころから巻き髪は私のトレードマークに。そしてカチューシャで前髪を止め、後ろで長い巻き髪を束ねる今の



片桐衣理氏

Eri Katagiri

衣類クリニック兼夢道（東京都港区）院長 ● 1993年帝京大学、東邦大学内科学修了後、2001年に医学皮膚科・内科医として衣類クリニックを開業。2004年、夢道院に移転し、アンチエイジング治療も手がけている。

診療スタイルができて上がりました。

内科の研修医時代は仕事に忙しかたれ、当直続きで5日くらいお風呂に入れないこともあり。そんな状況でよれよれになっていたも、患者さんと向き合う前にカチューシャをして髪を整えると、女性らしい気持ちが思い起こされ、診療にも真剣に取り組みたような気がします。（談）